

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年11月1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103007		
法人名	株式会社ビー・スマイル		
事業所名	グループホームケアセンター宇品		
所在地	広島市南区宇品神田2丁目9-4		
自己評価作成日	令和4年9月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103007-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年10月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>1. 個別ケア重視による可能性、能力の活性化（ストレングスシートの活用） 2. 安全・安心第一（看護職による医療連携の円滑化、オンコール体制の構築、地域医療との連携） 3. スタッフの充足によるサービスの質の向上、（採用活動及び離職者の軽減に努める） 4. コロナ対策の強化で持ち込まない（健康観察、抗原キッドの活用、スタンダードプリコーション、日々のバイタルチェック、手洗い消毒、マスク配布着用、ワクチン接種の推奨、）</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の強みに着目した個別性重視のケアと常駐看護師が医師、栄養士、薬剤師と連携した健康管理を提供することで質の高い生活を援助している。経験豊かなスタッフを中心に「スタッフ塾」を開催し個別ケアを支えるスタッフの育成を図っている。カンファレンスではスタッフ間で活発に意見交換を行い、利用者の変化を早期に発見し心身機能低下の予防を図り自立した生活の継続を実現している。又、当初より地域との交流を重じており子供110番、避難場所としての施設提供など地域貢献を図っている。コロナ禍でも運営推進会議の開催に務め、町内会長、地域包括支援センター、薬剤師など多様な参加者と地域課題の共有を図りながら地域密着型サービス事業所として地域貢献に務めている。</p>
--

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>ユニット内に事業所理念を掲示しスタッフが共有するために運営会議や、機会があるごとに唱和を推奨をしている。</p>	<p>事業所理念を玄関、各ユニットには行動指針を掲示している。毎月、ユニットごとの目標を設定することで年齢や価値観の異なるスタッフが支援の方向性を共有し個別性の高さと安全、安心のケアの実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>現在コロナ禍で交流が難しい。子供110番、町内会の緊急避難場所、ちびっ子やお散歩中の休憩場所としてエントランスを提供している。町内会主催のバザー、お祭り、餅つき、スタンプラリーも参加しているが現在は休止中。</p>	<p>事業所として町内会に加入している。事業所を災害時の緊急避難場所、子供110番等に登録し交流を図っている。コロナ禍において施設の開放は難しくなったが買い物やクリーニングなどで地元商店を活用し日常的な交流を続けている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>現在コロナ禍で規模を縮小して運営推進会議を実施。その中で近隣住民や町内会長、女性会、薬局の方が入っただいているので、認知症をテーマにした話や近隣の問題、情報交換、必要に応じて相談に乗っている。車椅子も必要な場合使用していただいている。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>参加者の制限をして管理者、町内会長、包括、薬局の方の出席で開催している。身体拘束会議の報告やコロナ禍の活動状況やBCPなど参加者と情報共有や学習の場としている。各ユニットでテーマを決め活動に参加、年度末には実際の食事の試食会をして認知症の理解を深めてもらっていた。</p>	<p>町内会長、地域包括支援センター、薬剤師が参加し活発な意見交換が行われている。身体拘束委員会や行事報告、BCP（業務継続計画）など情報共有と学習の場として運営推進会議の場を活用している。家族全員に会議報告を郵送し施設運営の見える化も図られている。</p>	
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>自粛中でなかなか積極的には難しいが、ことあるごとに電話連絡して情報、相談をし、市の審査会にも管理者が参加しているので新情報など収集の機会にしている。</p>	<p>地域包括支援センターを通じ、近隣グループホームとオンライン交流会を行っている。管理者の要介護認定審査会参加、介護保険制度に関する問い合わせやBCP（業務継続計画）作成を通じて行政機関と積極的に情報交換を行い、協力関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月のケアカンファでヒヤリハットと身体拘束のチェックをし安全衛生会議にて報告、運営会議、運営推進会議に報告、スタッフは全員回覧。スタッフ塾で年に1回の勉強会、市町主催の研修にも必ず参加、復命研修をしている。</p>	<p>年1回全職員が身体拘束に関する研修会に参加し身体拘束のないケアに取り組み、運営推進会議の場で報告している。独自のチェックシートを作成し個々のスタッフの意識啓発を促し、身体拘束をしないケアの実践に務めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>上記同様「虐待の芽チェック」をケアカンファで実施、スタッフの精神状態や環境を整え早期発見、予防に努めている。内外の研修には必ず参加し、知識の共有化に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要時にパンフレットなどで説明することもあったが現在は対象者がいない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に窓口を一本化し管理者が時間をかけて説明、納得が得られて契約となっている。「いつでも相談してほしい」旨を必ず伝えている。重要事項の変更時など押印返却手続き保管している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ケアプラン説明時、面会は自粛だが事務所での対応時にご意見ご要望を尋ね、申し送りノート、家族ノートに記載しスタッフ全員に周知、ケアプランに反映させる。</p>	<p>日々のケアの場面で利用者の意向や思いを確認している。細かな報告で家族とコンタクトを持つように務めている。管理部、現場スタッフが協働し粘り強く家族と関わることで面会を拒絶していた家族の行動変容を促し、家族に会いたいという利用者の思いを達成した事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年に2回実施の社長、施設長の直接ヒヤリング。運営会議、リーダー会議での提案発言の機会。社内のアンケートで情報を集めたり、日々の出勤退社時に聴くことがある。例えば食洗器の購入、お粥を提供するための炊飯器の購入など反映されている。</p>	<p>ヒヤリング、運営会議、社内アンケートを実施しスタッフの提案意見を管理部に申し出ている。現場から出た意見を反映し施設独自の感染対策、面会の指標づくり、食洗機や炊飯器の購入による個別ケア時間の確保など、現場の意見に沿った対応策を実践している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>半年ごとのフィードバック面接で代表者と直接話し合っている。出退勤時、毎日話す機会があり、タイムリーに対応できていて、物品購入や環境についても細やかに対応ができています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎月各ユニット中心に課題を提出して「スタッフ塾」を(185回目)開催しているが、今年は文書回覧での研修にとどまっている。新人研修、技術研修が難しい。外部研修はズーム研修にて参加中。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>包括支援センター主催の交流会に参加して情報を得ているが、コロナ禍もあり日々の業務に追われ事業所間での交流は自粛していて、個人での情報共有や相談はしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前にリーダー、看護職の訪問で情報を集め、面会ができない場合はケアマネ、医療機関、家族からの収集、暫定プランに本人の要望を取り入れる。当日にはシフトを厚くし、他のご利用者との関係を考慮した配置、自粛中でも家族の入室をお願いして環境を整えてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	上記述同様に家族に状態聞くよう努めている。当事業所のDS利用者の場合、DS職員とも情報交換し、家族が持っている不安の解消に努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居時の面接でアセスメントシート、バックグラウンドなどを参考に支援計画を立てる。家族と相談し修正対応するなどして実践的サービス提供をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の得意なことや今までの生活で継続できること主体とし、ストレングスシートを中心に継続出来る取り組みをする。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍でお互いにLINEや電話で以前より密にとれるようになり、不安の多い受診や入退院時のサポートも家族ができない部分を協力している。家族には詳しくその都度情報を提供し共有している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍で現在は出来ていない。日常の会話の中では、思い出していただくために話題に取り上げるよう務めている。	初回面接の際に生活歴の把握を行いスタッフ間で共有、日々の会話に故郷や昔馴染みの話を取り入れることで関係継続に務めている。個々の趣味に関する動画をYouTubeで再生しながら視覚的な回想も取り入れている。	

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日頃より利用者同士の関係を把握し席の配置に注意している。利用者同士のコミュニケーションが円滑に進むように職員が介入し話題提供するなど配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他事業所に正確な情報提供している。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の様子をよくお聞きし、普段の言動、様子等を観察するようにして、カンファレンスでよく話し合いその人らしい生活ができるように配慮している。	利用者の生活歴に着目し家族の意向をふまえ、日々の生活の中で自己決定を促せるようカンファレンスにて多職種が情報共有に努めている。利用直後から暫定プランを作成し生活リズム、生活環境を再現することで利用者が在宅時と変わらない生活を続けられるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族に入居時の資料として、バックグラウンドシートを記入いただき情報を共有している。使い慣れた日常の家具、食器、愛用品など持参いただき、お部屋を設えさせていただき、出来るだけ入居前の環境に近づけ快適に不安なくお過ごしていただくように努めて居る。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日2回、バイタルチェックをし、日常の健康状態を把握するとともに、異常の早期発見に努めている。全スタッフが健康状態を把握しているので、ストレングスシートを利用し残存能力を生かしたサービスの提供に努めている。		

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月1回ケアカンファを実施。夜勤等で不参加の職員にはカンファレンス申し送りノートで共有し、3カ月に1回のモニタリング個別プラン作成にて周知、実施している。</p>	<p>利用者の日々の様子を観察し3ヶ月のモニタリングを通じてケアプランを見直している。ストレングスシートを活用し本人のできることに着目し多職種が共同しケアプランを作成している。活動量の低下を早期に発見しラジオ体操等を取り入れ運動量の増加に努め、機能低下の予防に繋げている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>各自の個別記録のチェック表で実施状況を把握している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人やご家族の要望を聞き、個別に柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在はコロナ禍のため難しい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に主治医と契約し、他の医療機関の受診が必要な場合は主治医から紹介して頂いたり、主治医から頂いた結果をスタッフや、家族に連絡し常に同じ情報の共有に努めている。</p>	<p>了承があれば利用開始前の主治医に診察を依頼することができ利用者、家族の思いを尊重した医療の継続が図れている。他科受診の際は家族へ連絡し同意を得ている。緊急時など家族対応が難しい際はスタッフが対応し必要な医療を適切なタイミングで受けることができるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎朝、健康観察日誌で看護職に報告、異常の早期発見に努め必要に応じ主治医、関係機関への連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	上記同様に日々の連携を取っているが、入院時サマリー作成、付き添い、緊急マニュアルにて対応し、コロナかなので訪問は自粛中だが治療方針や退院時の情報など看護職、リーダーを中心に関係機関との情報を集約し各スタッフも共有している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りについては契約時に説明理解いただき同意を頂いている。主治医とご家族が情報交換できるよう取り計らっている。	看取りについては主治医の説明と事業所のできることを、できないことを伝えた上で家族の意向確認を適宜行い、最後までその人らしくを基本に看護師、スタッフが協働し支援している。デスクカンファレンスや研修会を通じて職員全員で経験を共有し更なる質の向上を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成している。異常の早期発見、初期対応、応急処置などスタッフ塾、安全衛生会議で取り上げ学んでいる。異常があれば看護職に伝え医療につなげている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	運営推進会議で体験実習や座学をし町内会長、地域の住民、参加者の協力を得られるように務めている。夜勤時の避難訓練を毎年各ユニット単位で実施している。	日勤、夜間を想定し避難訓練を年2回実施し利用者の安全確保に努めている。各種災害に対し避難方法を検証し津波については避難計画を作成し訓練している。又、運営推進会議で町内会長や地域包括支援センターと地域課題を共有し事業所として取り組めることを模索している。	

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	不穏時や拒否があったとき、ご本人の思いや、意見を尊重し傾聴、寄り添うように心掛けている。排泄時、入浴時の対応には特に注意し、トイレ後の処置など周囲に気を配り、新聞に包むなどプライバシーに気を付ける。	利用者ごとの呼び方に配慮し一人ひとりの人格の尊重に努めている。排泄、入浴時の対応や職員間での情報伝達の際にも自尊心や羞恥心に配慮しプライバシーに配慮した対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入浴時のマンツーマン対応時はご本人の希望、了解を得て介助に入る。お手伝いや役割をお願いするときは本人が選べるように、意思表示ができるように複数の提案をするよう務めている。スタッフ全員でチームケアをする。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者の体調、精神状態により個別ケアを変更し柔軟な対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には個々のレベルに合わせ声掛け、着る服から好きなものを選んでいただき、出来るだけ自分でしていただく。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むき、下準備、盛り付けをしていただく。ホットプレート囲んでお好みを作ったり、おやつ作りをしている。	食材の下準備や盛り付け、片付けなど利用者が強みを活かし調理に関われるよう支援している。経口摂取による食事がいつまでも続けられるよう利用者の嗜好や嚥下状態に合わせた食形態の提供や、屋上で収穫した食材を利用し季節感を楽しめる食事提供を行っている。	

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食事、おやつ、水分の摂取量をチェックしている、水分の少ない人には種類の違うゼリーを作り提供。食事の形態を変え刻み、ミキサー、トロミつける、お粥を提供など、できるだけ経口摂取できるように容器などの工夫をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>起床時、毎食後の口腔ケアは徹底して行い歯間ブラシにてスタッフがチェック。個々の状況に合わせてハミングッドしたり、個別に洗浄対応など毎日対応している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄リズムや習慣を把握しタイミングに合わせて声掛け誘導をすることで、スムーズな排泄につながる。排便後の清潔のため陰部洗浄やホットタオルを準備し膀胱炎の予防に努めている。</p>	<p>利用開始時より排泄パターンの把握や利用者のできることを見極め過剰介助とならないよう個別ケアを行うことでオムツやリハビリパンツから改善された事例がある。食事内容や水分補給、適度な運動を行い自然な排泄が行えるよう支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の排便リズムや便秘の有無を確認。必ずバイタルチェックと一緒に排泄の有無、形状、量の記載もしている。便秘の予防をして排便を促す運動、バナナ、ヨーグルト、牛乳など工夫し自然排便を促し、3日以上になると医師と連絡。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々の体調に注意し入浴前のバイタルチェックにて判断。同性介助。柔軟に対応している。</p>	<p>利用者の体力や病状に合わせて入浴方法や回数を調整し身体に負担なく入浴が行えるよう支援している。福祉用具の利用や2人介助で浴槽への入浴が行えるよう務めリラックスした雰囲気の中、歌や昔話で入浴を楽しめるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	GH2F		自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。		夜間は1時間ごとの巡室し体調、 環境のチェック、(照明、温度、 湿度)毎日1時間以内の午睡。年 に2回の寝具全部の滅菌消毒乾 燥機の利用で清潔安眠の確保に 努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。		服薬一覧、服薬管理表、臨時薬 表作成し変更時は随時書き替 える。申し送りノート、ケース 記録で情報の共有。看護職や 薬局との連携、情報交換を密 にする。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。		個々の能力に応じた役割提供し 意欲的活動を考慮、調理、洗 たく干し、畳む、お盆拭き、毎 月の季節の壁画作成、カレンダー づくり、体操、レクリエーション、 などに参加頂く。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援している。		コロナ禍のためできていない。	コロナ禍で外出制限はあるが 屋上庭園での外気浴や時間帯を 見計らった施設周辺の散歩など 外出支援を行っている。スタッ フ間で話し合いユニットごとの ドライブを行うなど感染対策を とりながらできることを模索し 利用者の希望する生活の実現に 努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。		日用品等の買い物支援のため 5000円から1万円程度預かり 金の管理をしている。必ず家 族に相談了解を得て支援してい る。		

自己評価	外部評価	GH2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年に2回年賀はがきや暑中見舞いのはがきを個々の能力に応じ作成し、発送する。請求書発送時の近況報告や写真を同封、スマホの利用でビデオ通話などで近況報告などしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節に応じた壁画飾りを全員で協力作成する。月間のイベントやお誕生日イベントのお知らせをしている。	共用空間には屋上庭園で育てた花や季節ごとの壁面飾りを行い四季を感じる工夫を行っている。屋上庭園はスタッフの意見でリニューアルを行い、座ったままでも作業が行えるプランターなどを取り入れ、利用者全員が楽しめる共用空間を作り上げている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	安全でくつろげる空間を保ち、個々の身体状態に合わせた席の配置やレイアウトの工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人のお気に入りのもの、思い出の品、愛用されている調度品を持参いただき、本人が使いやすいよう、相談して配置しご家族の写真やプレゼントを飾っている。	初回面接の際に在宅時の生活環境を細かく把握している。馴染みの家具やベッドの持ち込みやベッドの位置やトイレの向きなど在宅時の住環境や生活動線を再現し利用開始後も本人が混乱なく生活できるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーの廊下、トイレ、バスルームに手すりを取り付けて安全対応をしている。入浴時必要な人にはキャスター付きシャワーチェア、などその時にあった用具の準備をし安全に配慮している。		

V アウトカム項目(GH2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	各ユニットに掲示。月一度の開催のスタッフ塾や運営会議で唱和確認しているが、コロナ禍のため頻度が減少している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・町内会の緊急避難場所 ・こども110番 コロナ禍のため近所の方とコミュニケーションがとりづらい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍の為、運営推進会議に参加される町内会長や老人会、女性会の役員、近隣の方との情報交換が出来ないので苦慮している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍のため各階リーダーは参加せずに管理部から3名外部から3名の少人数で開催している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険更新時、改正時に情報収集や集団指導参加、介護保険審査会参加によるいち早い情報入手、協力関係を築くよう取り組んでいるが、コロナ禍の為困難である。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月一回安全衛生委員会で身体拘束が行われていないかどうか検討し、又3ヶ月に1回「身体拘束適正化対策委員会」において各階で確認検討して全職員回覧し運営推進会議に報告。日々のケアの中で、原因は何か、よく観察し対応策をケアに反映している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	安全衛生委員会にて、3か月に1度身体拘束の報告を行い、身体拘束防止に努めている。見てわかる虐待については皆周知しているが、本人も分からないうちに虐待になってしまっている事を毎月の各階カンファレンスで取り上げて防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人の方からお話を聞く。パンフレットなどで必要な方に説明している。必要であれば役所への同行も考えている。地域包括や主治医に相談しているケースもある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書を基に、十分に説明を行い、家族などからの質問も丁寧に説明し理解を得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ケアプランの説明時や、携帯電話のラインでの面会時にご要望をお聞きする。その旨はケアプランに反映している。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に2回のスタッフ面接、毎月の運営会議、リーダー会議の際に個別の事案を持ち寄り意見交換、検討してフィードバックしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年ごとの管理者と職員との面接で賞与、昇給への反映や個々のケアを伸ばすアドバイス、会社の方針など伝え来期に反映できるように話し合っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	コロナ禍の為十分な研修参加が出来ていないができるだけオンライン研修に参加している。参加者は復命書を提出し、回覧して全員周知している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ禍であっても、今まで培ってきたネットワークを活用し、情報収集に努めサービスの質の向上に努めている。地域包括の主導のもと、オンラインを利用して地域同業者3施設での交流会を開催している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に専従看護師と共にご本人ご家族と面会しお話を伺っている。事業所内のデイサービス利用者様からの入居希望の方には声かけをこまめにしている。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。</p>	<p>通常、各々のご家族との関係性に留意しながら、ご本人に対するご家族の思いに寄り添い、安心していただけるように努めているがコロナ禍の為、携帯のlineを活用したり工夫して取り組んでいます。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>十分な情報収集とアセスメントを行い、課題を分析把握し、訪問医療等の利用を含め、スタッフ全員が適切な対応を行うように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>スタッフは、ご本人の生活歴を把握し、出来る事、得意なことを役割として活動して頂くと共にこれまで培ってこられた歩みに尊敬の念を持ち感謝を忘れずに支援させていただいている。</p>		
19		<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ライン等で生活状況を伝え、どのように対処すれば良いかアドバイスやケアの協力を頂いている。又、ケアプランに必ずご家族の役割を入れている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍のため出来ていないがドライブやユーチューブなどを活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご入居者同士の関係性を把握しリビングの席位置、アクティビティ、外出等注意している。スタッフがコミュニケーションが円滑になるように介入している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	亡くなられた際は、葬儀や通夜に列席したり、退所時にはこれまでの生活状況のわかる写真や作品などをお渡しし、エピソード等もお話したり、スタッフ間ではデスクカンファレンスを行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思い、意向をしっかりと聞きしている。ご本人が訴えられない場合はご家族、キーパーソンにお話を伺っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族に今までの生活歴をお伺いしケアに努めている。他の事業所の相談員、ケアマネに連絡しお話を聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ストレングスシートを用いて、出来ること、出来ないことを把握してケアプランに反映している。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月1回カンファレンスを開催している。毎日モニタリングしケアプラン作成時に活用している。ご本人、ご家族にはご意見やご要望をお伺いしている。看護師、主治医にも適宜相談しケアプランに反映している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別ケースに記入している。毎日の情報や改善した方が良い点など申し送りノートに記入している。カンファレンス時に再度改めて話し合いをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	病院受診時には、基本的にご家族にお願いしているが、ご家族の状況によっては代理受診をしている。リハビリの必要な方は、外部からの理学療法士の利用についてご家族に提案している。(コロナ禍により中止している。)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	現在コロナ禍により、地域の資源の活用が行えない。(中学校からの職場体験、子供会、保育園との交流)		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	看護師より、ご家族に連絡し状態など伝え、ご家族同意のうえにて受診している。入居以前と同じ主治医に往診頂くことで、安心して生活を送って頂ける。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日夜勤明け者が健康観察報告書を記入している。スタッフやご入居者との日々の状況把握に努めている。毎朝看護師がユニットの様子観察に訪れコミュニケーションを取られている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時サマリーを作成し情報を提供している。コロナ禍にて、現在はお見舞いに行かれないが看護師、スタッフがご家族と連絡をとり状況把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りについてご家族に当施設の方針を十分に説明しご理解を頂いた上で同意書を頂いている。主治医とご家族がスムーズにコミュニケーションが取れるようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	全スタッフに応急処置、初期対応について細かく指導伝達している。マニュアルも作成している。ご入居者に何か特変あれば看護師、主治医へ報告し指示を仰ぐ事を徹底している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回の消防訓練、日勤帯や夜間帯の想定訓練を実施している。また、運営推進会議において、地域の消防署より水害や消防、地震等の研修をしていただき、運営推進委員の方にもご参加いただき、協力体制の構築に努めていたが、コロナ禍のため報告のみとなっている。津波避難計画書を作成、市へ届出し年1回訓練している。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりその方に相応しい呼び方をしている。ご利用者の思いを尊重し無理強いしないよう傾聴や寄り添いを心掛けている。スタッフの体験や対応を詳しくケース記録しスタッフ間で情報共有して良いケアができるよう対応に務めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コロナ禍にて散歩や外気浴は感染予防対策を十分してマンツーマン対応させて頂いている。お手伝いや役割をお願いする時も自己決定できるように提案させて頂く。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者の体調、精神状態に合わせて個々のケアをしている。できる限り希望にそって喜ばれるように支援させて頂く。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご利用者の自分なりのおしゃれを楽しめるよう出来るだけ整容お化粧品等声かけて身だしなみをして頂く。起床時にはスタッフもお手伝いし整容して頂く。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お米とぎ、野菜切り、おやつ作り等、お手伝いをして頂く。食欲不振の時は個別に入手している嗜好品をタイムリーに提供する。肉類、魚類など好き嫌いに応じて提供している。同伴通院時の帰り道に、コンビニに寄って買い物を楽しんで頂く。		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事毎に食事量、分量をチェックしている。十分に摂取出来ないご利用者にはエンシュアリキッド等で調整している。嚥下障害の方にはトロミ食、ソフト食、刻み食など形態を変えて提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを必ず行っている。歯間ブラシや洗浄剤などで清潔を心掛けている。ご家族の希望に応じて歯科医の往診にてブラッシングして頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレの声かけ、誘導を個々の排便リズムに合ったようにする。毎朝食に飲むヨーグルトとバナナを提供している。水分摂取の勧めや歩行、軽運動の勧めをしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取管理や、乳製品の提供、繊維質食品を取り入れ、腸の活動を促す運動の促進や、主治医より処方された薬などを利用しながら、体調管理をさせていただいている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの体調管理や本人の習慣などに合わせて支援している。入浴前はバイタルチェック、安全を考慮したシャワーチェアや踏み台などを使用している。臨機応変に2名介助で支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>夜間1時間毎の巡室し照明や温湿度の管理する。年2回の寝具の滅菌乾燥。昼食後の仮眠の導入により体調維持や安眠を確保している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬管理表の作成及び臨時薬や薬変更を申し送りノート、ケース記録への記入により情報共有している。看護師、薬局の方との連携を密にとっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の能力に応じて役割を提供している。レクリエーション(歌、塗り絵、パズル等)は楽しく参加して頂けるよう工夫している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出は控えていますが、屋上庭園や施設周辺での散歩、外気浴を徒歩、シルバーカー、車椅子等個々の状態に応じて実施している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>日用品などの買物支援のため5000～10000円程度、預り金を管理させて頂き、ご家族の了解を得てから、買い物支援させて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GH3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>コロナ禍で面会が制限されているため、ご本人、ご家族の希望に応じて施設の携帯電話やご本人の携帯電話を利用してビデオ通話等を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花など玄関やリビングに飾って頂いている。又、リビングに季節感のある壁画をご利用者と協力して作成し飾っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個々の身体や精神状態に合わせて席の配置や机とのレイアウトを工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人のお気に入りの物、思い出の物など持って来て頂き、ご本人の希望に合わせて配置したり、ご家族の写真や手紙などを飾っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、トイレ、バスルームなど必要に応じて手すりを設置している。トイレ、各居室が分かりやすい様に、大きな字で標識や飾り物を設置している。</p>		

V アウトカム項目(GH 3F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	③たまにある
			④ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業者の根幹をなす事柄なので、常に意識し、働いているスタッフは年齢や価値観が異なっているため、考え方や方向性を定める場合の指標となっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍前は、馴染みの美容室や喫茶店の利用、近所のお店やスーパーへの買い物、職場体験やボランティアの受け入れ、子ども110番等、地域の一員としての役割に取り組んでいた。コロナ禍中で日常的に交流は難しい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	機会があれば、日曜日のデイルームを利用しての地域サロンや、認知症の映画会、鑑賞後の座談会とか、認知症の勉強会等も開ければ、もっと認知症を持つ方の理解が深まるのではないかと考える。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍で開催は限定的であり、運営推進会議を感染対策をし開催できた時もあったが、感染拡大に伴い報告のみとなっている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の参加要請はしているが、出席は1回のみとなっている。介護保険の改定時等、不明な点や適応事例等の問い合わせに応じていただいている。		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>代表者及び全ての職員は、身体拘束ついて年1回の研修に参加し、月1回の安全衛生委員会で報告を行い、各ユニットに持ち帰り、カンファレンスで掘り下げ考えている。尚、コロナ禍で研修自体が出来ず、回覧となっている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>安全衛生委員会にて、3か月に1度虐待のアンケートの報告を行い、虐待予防防止に努めている。見てわかる虐待については皆周知しているが、本人も分からないうちに虐待になるかもしれない事柄について、見過ごすことなく現場や、カンファレンスを通して防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度については、現在はコロナ禍で研修自体の開催ができない場合は、資料を回覧しカンファレンス等で周知徹底している。ほとんどご家族がおられるので活用は少ないが、独居やご親族が遠方の場合は利用される頻度が多くなっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>各々のご利用者は認知症を持たれているので、納得される説明をご家族と協議の上、スタッフ周知し、ご家族の方には出来る事やできない事をお伝えしご理解いただきながら、ご本人に対するご家族の思いに寄り添い、安心していただけるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者の日々の意見や、ご家族からのご意見やクレーム、要望に対して、真摯に受け止め施設側の独りよがりにならないよう取り入れさせていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>半期に1度の個人面談や、月1回の運営・リーダー会議、カンファレンスにおいて、スタッフの意見を吸い上げ、管理者に報告し、フィードバックしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の面談において、スタッフの意見を現場におろし、または、日々のスタッフの様子から心身の健康状態などを察知し、声掛けを行い、またスタッフの意見を聞く体制になっている。今般は、物価の上昇で家計の負担を鑑み、給料水準の変更を期待したい。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修を受ける機会は、外部はもちろんの内部でもコロナ禍で難しい時期。リモートで研修を受けたり、内部研修では、担当のユニットがまとめた研修資料を回覧し、カンファレンスで周知させる材料となっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>コロナ禍であっても、今まで培ってきたネットワークやリモートを活用し、情報収集に努めサービスの質の向上に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご自宅からのご入居となると、同居の場合は情報を頂けることが多いが、独居ではご本人からの情報量は格段に少なくなる。入居されてからスタッフの観察した情報を元に、どうすれば安心して過ごしていただけるかを検討しケアに活かしている。</p>		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	ご家族が後ろめたさ等、マイナスのイメージを持たれないように、ご利用者と離れる事の大切さや利点についてとか、実際はどのような生活になり、ご家族のご要望等を十分に受け止める。しかし、出来る事出来ない事をしっかりとお話するように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	十分な情報収集とアセスメントを行い、課題を分析把握し、訪問医療等の利用を含め、スタッフ全員が適切な対応を行うように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	スタッフは、自分の家族や自分に置き換え感じ考え、ご本人の意向を尊重し、思いや希望をお聞きしながら、居心地が良いと感じて頂けるように、努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍で、面会が解禁になったり、禁止になったり、ご家族が面会に来られた際には、現在は短時間であるが、日頃の生活状況や変化等を報告相談し、ともにご本人を支えていく関係作りに努めている。また、ご家族の状況についても把握させて頂いている。必要な場合は、電話やラインを利用させて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍であるが、ご本人の身体心理状況の変化に留意しながら、面会や電話またはテレビ電話、ラインなど活用し、ご家族との時間を少しでも持ってもらえるように支援している。馴染みの人、場所に行く等の実現は難しい状況にある。		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	性別、職業、性格、生活環境等を留意し、関係性を考慮の上、席決めを行っている。(どこでも良い。自由に席には、現在のご利用者様にはそぐわない)互いがストレスにならないようにスタッフが介入したり、気分転換をして頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	自宅に戻られた方には、ご家族からどうすれば良いかの問い合わせに、アドバイスしている。亡くなられた際は、葬儀や通夜に列席したり、退所時にはこれまでの生活状況のわかる写真や作品などをお渡しし、エピソード等もお話したり、スタッフ間ではデスクカンファレンスを行っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居当初は、起きる時間や寝る時間、食事時間、入浴頻度・時間帯等、出来る限りそれまでの暮らしに近づけるようにしている。また、意思疎通が上手く出来ない方は自宅での様子などから、ご本人の立場に立ち、支え寄り添うように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	インテーク時はもちろんの事、生活歴やエピソード等、ご本人やご家族との会話の中や、利用されていたサービス等から情報提供を受けたり、聞き取ったり、見学させていただき把握している。コロナ禍のもと馴染みの暮らしは再現できていない。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	認知症の経過とともに、出来る事が少なくなる中で、でも、この部分は出来ているその力に注目し、不完全ではあっても、出来た喜びをもって頂ける様に支援している。		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人の日頃の様子や観察した事柄をカンファレンスで出し合い、ご家族やご本人の要望をお聞きし、または普段から口にされている事などを漏らすことなく周知し、よりよい生活をしていただけるように、ケアプランに反映している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに基づいたケアの実践と、その中でご利用者に変化のあった事柄や言動、行動等を、客観的に捉え、事実をケース記録に残し、緊急性のない事柄は3か月後、または直ぐに変更しなければならないことは、申し送りノートや口頭でスタッフ周知徹底している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人やご家族の状況の変化を把握確認し、常に見直しを行い、どうすれば実現できるかを試行しながら、ケアを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	中学校の職場体験の場の提供や、日頃の地域の方との交流や行事への参加等が挙げられるが、コロナ禍で中断している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週に1度の主治医の往診時に、看護師を通して状況報告を行っている。3か月に1度は定期検診を受けていただいている。他科の往診もいただいている。専門医の受診はご家族が難しい場合には、スタッフ同伴し早期の対応をとっている。		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人の体調や日頃の状態を理解しており、早期に変化等を適切に看護職に報告相談し、指示を受けている。必要な場合は、受診往診等につなげている。休日や夜間は、看護職がオンコールにて連絡相談指示を受けられる体制になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時の介護看護サマリーをやり取りし、看護師は作成し、地域連携室と情報交換をしながら、速やかに退院できるように努めている。また、ご家族の意向も考慮し判断いただいている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期医療については、主治医よりご家族に話された上で、ケアセンターで出来る事出来ない事をご家族に伝え、その都度、意向の確認を期を逸することなく行い、最後までその人らしくを基本に、スタッフはもちろんの事、オンコール体制で主治医や看護師と連携しながら行っている。また、デスクカンファレンスも行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>個々のご利用者の急変、AED設置、休日・夜間のオンコールの体制づくりをしている。また、スタッフ塾において、事故発生や感染症発生時の適切な対応についても、繰り返し実践する機会もあるが、コロナ禍の中で、資料を回覧し周知を図っている。または、カンファレンス時に話し合う機会を持っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年に2回の消防訓練、日勤帯や夜間帯の想定訓練を実施している。また、運営推進会議において、地域の消防署より水害や消防、地震等の研修をしていただき、運営推進委員の方にもご参加いただき、協力体制の構築に努めていたが、コロナ禍のため報告のみとなっている。</p>		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフ塾において、コンプライアンスや接遇、虐待等の研修を開催し、言葉かけや対応等を確認し、新たな発見もある。また、日頃のケアの中で、何気なく行っている対応も、見方を替えば虐待になりかねないため、スタッフ間でより良い対応が出来るように、カンファレンスで話し合っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入浴場面で入りたくない場合はそのままにせず、本人の希望をできるだけ叶えるよう、タイミングを見て再度声掛けして快く入浴するよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけご本人の意向にそった生活を送っていただけるように支援をする用意はある。コロナ禍で希望される買い物や、外泊、外出はできずにいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	約2か月に1度の訪問理容、希望される場合には月に1度利用されるほか、ご自分が主役の誕生会には、ご本人の好きな洋服を着ていただいたり、時にはお化粧もしていただいたりして、少しでも気分が晴れやかになるように支援している。ただコロナ禍のため、家族との食事やなじみの美容室への利用はできていない。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	認知症が進んだ方や、男性が多い為、毎日の食事準備や片付けをスタッフが行う。トレー拭き等はお手伝いいただく。また、屋上の収穫祭や季節行事や誕生日会等は、簡単なメニューにし、カレー作り、おはぎ、パースデイク作り等をお手伝い頂いている。		

自己評価	外部評価	GH4F		自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。		毎日の食事摂取量や水分量を記録し、体調や体重管理と血液検査等のデータから体調をみる指標とし、水分の進まない方には好みの物やゼリーや栄養補助食品の提供等、脱水にならないように留意しOS1を利用しながら、重篤にならないように留意し、嚥下機能が低下されている方には、トロミ付けや刻み、食べやすい食形態にして提供している。糖尿病の方には、高たんぱく低カロリーを心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。		口腔内の清潔は、内蔵機能や血圧等、誤嚥性肺炎の予防等、様々な影響を及ぼす。認知症になると、歯科治療も難しくなることから、スタッフは口腔清潔の重要性を周知している。また、月に1度の訪問歯科医に往診していただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。		便意や尿意があるかたは、もちろんの事、トイレでの尿や便の排泄を優先している。また、必要以上に手を出さないように、出来る事出来ない事を見極め介助している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。		便秘は、水分摂取、繊維、葉、運動不足の影響が大きく、高齢になると運動機能が低下していくので、便の状態や、その日の水分、食事摂取内容等を考慮し、緩下剤も服用頂いているが、便秘になることで、不穏状態が起こり、ご本人もお辛いので、時には座薬を利用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。		このユニットでは、高齢の方が多く、現病もあることから3日に1度の入浴、シャワー浴をしていただいている。湯温や時間等、体に負担をかけないように配慮し、入浴前後の水分補給。希望されない場合は、時間帯や日をずらし、体調がすぐれない場合、無理をせず陰部洗浄や清拭、手足浴等も取り入れている。		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	居室の明るさや、温度、湿度、 季節の応じた寝具の調整、季節 の変わり目等は特に気を付けて いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	スタッフはご本人の現病を周知 しており、薬の摘要や、副作用 などにも注意している。例えば、 利尿剤の処方時は週に1回の体 重測定を行い、尿量にも注意す る。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	現在の出来る事出来ない事を 把握し、かつては難しく出来て いたことが出来なくなっている 事がおおいが、その工程の中 で、少しでも出来ることを見 つけ出し、自尊心を傷つけない ように配慮している。また、他 の事で新たに楽しめることを 試行させて頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。	日常的な外出支援は出来てい ない。季節的に近隣への散歩 や、たまのドライブ。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	以前はお金を持っていたという 方がおられ、所在が分からな くならないように注意させて 頂いていたが、現在は少額程 度を預かりし、必要な場合 には、ご家族に確認しスタッフ 代行で購入している。		

自己評価	外部評価	GH4F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	コロナ感染状況に応じて、短時間の面会やLINE電話や、4階リビングからご家族に向けて手を振り、元気な姿を見て頂いたりしている。携帯電話でのやり取りの支援をしている。Lineでは、認知症が重度化している方には、難しいと感じる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた花や野菜を屋上に植え、育てる楽しさを感じていただき、リビングに飾ったり、食事に使用したり、また、玄関やリビングには、季節がわかるように、ご利用者の方々にもお手伝いして壁絵を作成している。 生活空間の環境整備（温度・湿度・換気・照度・音・匂い・感染予防・清潔・安全）にも配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者どうしの関係や、聴力視力に応じた席の配置をさせていただいている。時には、お一人で作業ができるよう、席を移動する等の配慮をしている。しかし、席は固定した方が、居心地に繋がり、どこでもいい好きな席にだと、混乱されることが多い。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	インテーク時に持ち込みされる馴染みの家具等を確認させていただき、再現できるように支援している。また、その方のこだわりがある物については、ご本人が安心されるように配慮している。カーテン等も持ってこられるのも一案。床マットについては、転倒の危険あり要相談。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来る事、解ることは変動することが多々あるので、その日その時の状態を把握し、今日は落ち着かれないから、転倒されないように気を付けようとか、その日のスタッフに周知させ、転倒やケガが無いように気を付けている。		

V アウトカム項目(GH4F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームケアセンター宇品

作成日 令和4年11月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	34	感染症対策としてコロナ、インフルエンザ、ノロウイルス等の予防。	1. 感染源を持ち込まない。 2. 感染経路の遮断。 3. 抵抗力(免疫)増進。	1. 定期的に勉強会等で学習機会を設ける。 2. 早期発見のために日々のバイタル計測。 3. 予防対策としてのワクチン接種の進め。 4. スタンダードプリコーションの徹底。	継続中R5年度
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。